



出会いの  
ひととき

健康いちばん!の集い

特集

## 新年によせて お知らせとごあいさつ

報告のページ  
12月議会定例会

教育のページ  
こども園のもちつき会



今月の特集  
村の動きや今後の  
予定をお知らせしながら、新しい年に目を向け  
ます。明るい1年  
となりますよう。



大いなる田舎  
までいライフ  
いいたて

# 新しい年の 幕開けです

帰還困難区域を除いて飯舘村の避難指示が解除されたのは平成29年3月。以来、この1年9か月の間に、「いいたて村の道の駅までい館」の開業、認定こども園や小学校・中学校の開園・開校、スポーツ公園のオープンと、大きなできごとが続き、農業の再生にも、力強い取り組みがありました。

復興計画に基づく事業が進み、村づくりはさらに新しい段階を迎えます。次年度には、第6次総合振興計画の策定に向けた取り組みも始まる予定です。課題を乗り越え、支え合ってチャレンジしていきましょう。新しい年を、明るい年にしていきましょう。



学校エリア 小中学校の前庭



いいたてスポーツ公園 陸上競技場・サッカー場



水田放牧の実証地

いいたて四季彩景 ● いいたてルミナリエ



1月27日まで「いいたて村の道の駅」で午後9時まで灯されます。写真は12月14日の点灯式の後。



## CONTENTS 目次

- 3 特集1 新年によせて
- 6 新春あいさつ
- 8 復興を歩む までの里の健康運動塾
- 10 報告のページ 12月議会定例会
- 12 教育のページ こども園のもちつき会 ほか
- 13 教育のページ 全国学力・学習状況調査 ほか
- 14 お知らせのページ 農地取得条件の緩和 ほか
- 16 いいたて便り
- 18 つながるアルバム
- 19 ちょっと昔のいいたてライフ ほか
- 20 お知らせ
- 21 入札結果 ほか
- 22 ひとかたるものがたり / 堀先生相談室
- 23 こころのぼけっと / ひとのうごき
- 24 ホープス / 編集後記

12月17日に「いちばん館」で村民生児童委員協議会・村老人クラブ連合会、認定NPO法人ふくしま再生の会が開いた「健康いちばん!の集い」。心と身体を元気にする催しです。手作りのクリスマス料理も皆で味わいました。和やかにおしゃべりしながら看護師の八木優子さん(左)のフットケアを受けていたのは大内廣子さん(八木沢・芦原)。やさしい笑顔を交わしていました。



● 表紙のおはなし ●

## あたりまえをありがたいと思うプロジェクト

### エピソード募集!

3月11日の「あたりまえをありがたいと思う日」に向けて、皆さんからエピソードを募集します。

#### 募集 あたりまえをありがたいと思うエピソード

日頃あたりまえにやっていることや、起きていることなどが、実はとてもありがたいことだった…と気づいたことはありませんか。そんなエピソードを教えてください。

#### 字数 200文字程度。

あくまでも目安で、ごく短くなくても、200字以上でも構いません。  
※村の発行物等に掲載する際に、補足・割愛をすることがあります。

#### 締切 2月3日(日)

応募 用紙は自由です。郵送・FAX・メールのいずれかでご応募ください。応募者の氏名・住所・連絡用の電話番号を明記してください。選定委員会で審査を行い表彰します。

各賞 優秀賞 1名 表彰状・副賞5万円  
優秀賞 3名 表彰状・副賞3万円  
ほっこり賞 5名 表彰状・副賞1万円

送付 kikaku@vill.iitate.fukushima.jp

FAX 0244-42-1601

〒960-1892 福島県相馬郡飯舘村伊丹沢字伊丹沢580番地1

飯舘村役場 総務課企画係 ☎ 0244-42-1613

ご応募  
お待ちしております



## いいたて新春のつどい

1 日  
20

会場:飯舘村立飯舘中学校体育館

午前9時 先着800名  
開場! 入場無料!

9時 開場  
9時30分 開会式  
10大ニュースの発表!  
小学生のステージ  
書家・陽華さんのパフォーマンス書道  
正午 休憩 昼食(無料)※なくなり次第終了  
1時 さだまさしさんコンサート  
2時 閉会式

さだまさしさんの  
歌声をぜひ会場で!

# 年の始めのお知らせです

つながってほっこり

### 自分史集「飯舘村に生きて 20人の足跡」

20人の皆さんに応募・協力をいただいて、自分史集の制作が進んでいます。この自分史集の対象は、70歳以上の方で、暮らしや体験について語っていただき、それを文字にして残していきます。開拓のこと、戦争のこと、小さい頃や結婚後の家族のことなど、参加いただいた皆さんからは、記録としても貴重なお話をたくさん聞くことができました。聞き取りには、福島大学の学生も協力しています。完成した本は、ご本人とご家族にプレゼントし、交流センターなどの公共施設にも置かれます。プロジェクトは次年度も続く予定です。

制作が  
進んでいます



### 10大ニュース募集中!

「いいたて新春のつどい」に向けて「10大ニュース」を募集しています。応募用紙の50項目から「これこそ平成30年の10大ニュースだ」と思う10項目を選んで投票してください。応募は、専用封筒で郵送、または役場窓口の投票箱へ。全問正解者（もしくは最多正解者/該当者が複数の場合は抽選）には「いいたて村の道の駅までい館」の商品券5万円分を!さらには抽選で当たるプレゼントもあります。投函の締切は1月7日です。

1/7までに  
ポストへ!

「10大ニュースの発表は  
『いいたて新春のつどい』で!」



詳しくは12月5日に配布の  
チラシをご覧ください!

## 年頭のごあいさつ



飯舘村長  
菅野 典雄

村民の皆さん、明けましておめでとございます。新年を健やかに迎えられたでしょうか。月日の経つのは実に早いもので、また新しい年を迎えることになりました。30年間、慣れ親しんできた平成の名は、5月から新しい年号に変わりますので節目の年と言ってよいでしょう。私たちの村もある意味で節目の年といえます。なぜなら、避難生活への住宅費補助の期限が切れる年になるからです。

村としては、昨年からの出来る限りの相談やサポートに努めてきたところですが、自分のこれからの人生をどうするかの大切なことから、それぞれ考えていただくことが一番良い方策になるものと思われまますので、よろしくお願い致します。

ふり返れば、村民の皆さんや議会のご理解とご協力によっていろいろな面で、さらに、前に進んだ年でもありました。4月に開園・開校した認定こども園、小・中学校には、110人程の子どもさん方に通学していただいています。「おかえりなさい補助金」を使つての帰村家族は365世帯になりました。「なりわい農業」の補助は67人が使われて頑張ってもらっています。商業の方は29人です。「生きがい農業」の補助を使われた方は293人おられると聞いております。「いいいてクリニク」のサポートセンター登録者も

## までいな心を忘れずに



飯舘村議会議長  
菅野 新一

村民の皆さん、新年あけましておめでとございます。

今年で震災から8年が経ち、長泥行政区（帰還困難区域）を除き避難指示が解除されてから3年目を迎え、帰村される方々も増えている中、長泥行政区においても新たな復興拠点とし、環境再生事業の実証に向け、運営協議会も設立され除染も始まりました。

まだまだ、村民の皆さんはそれぞれの事情により、村内・外を問わず不慣れた環境にて不自由な生活を過ごされておられ、村民を代表する議会人として誠に申し訳なく思っております。そうした中、帰村人口は今現在16%程度となっております。増えておりますが、全村避難がおよそ6年と想定以上に長くなり多くの課題を残したと痛感しております。

しかしながら、村内にて、昨年4月に認定こども園、小学校、中学校が開園・開校し110人の子ども達が新しい学校生活をスタートし、子ども達の笑顔と歓声が村に戻りました。8月にはスポーツ公園もグラウンドオープンするとともに、9月に敬老会、10月に文化祭と村の再生に向かって一歩ずつではありますが、着実に進んでお

126人程おられるとか。移住・定住・交流対策で村に移り住まれた方も18人程おられるようですし、「ふるさと住民票」を手に入れた方も282人とか。また「ようこそ補助金」を使つて村に足を運んでいただいた方も158人おられます。

その他、長泥の復興拠点整備事業もスタートしましたし、荒れた農地の基盤整備も進められているところです。そのように村民の生活支援や村の再生に向けて職員ともども努めてきたところです。

新年になつても、課題は山積みですので、皆さんの力をお借りして新しい村づくりにしっかりと向き合っていきたいと思っております。

終わりに新年には、ふさわしくないかもしれませんが、村民の皆さんにこの災害にめげず、前を向いて生活して欲しいという願いを込めて「そのうち」という詩を紹介いたします。

そのうち

相田みつを

そのうち お金がたまつたら  
そのうち 家でも建てたら  
そのうち 子供から手が放れたら  
そのうち 仕事が落ちついたら  
そのうち 時間のゆとりができたら  
そのうち…そのうち… そのうち…と、  
できない理由をくりかえしているうちに

(中略)

日が暮れる いまきたこの道 かえれない

いかがでしょうか。親からもらった大切な命であり人生ですので、さらにさらに大切にしてください。

新しい年号の年、皆さんにとって昨年以上によい年でありまう、心よりお祈りして新年のあいさつとさせていただきます。

り大変喜ばしく思います。

また、村では村づくりの基本理念である「までいライフ（MAD A Y L I F E）」が掲げられ、将来像と施策の大綱となっております、

1. 感性豊かで自立心のある「共有」を大切にする村
2. 「いたわりあい」と「支え合い」の優しい笑顔と心が満ちた村
3. からだと大地のいのち・健康を支える循環型の村
4. 「までいな暮らし」を支える舞台や仕組みの整った村
5. 農的な暮らしとともに飯舘流の産業が息づく村
6. 一人ひとりが生き方や暮らしに誇りを持ち、笑顔にあふれた村

とあります。復興計画のコンセプトにもある「ネットワーク型の村づくり」を実質的に進められる様に、我々、村議会議員各位が元気に情熱を持ち、協力と一致団結をし、村民の皆さんの声に寄り添い傾聴し、「までいな心を忘れずに」村再生と活性化に全力で、故郷・飯舘村を大切にするを礎に、全ての村民の皆さんが豊かで安心して、暮らせるように取り組む所存でございます。

どうか、今年も一層のご指導・ご協力を賜り、活気ある村議会でいられますようお願い申し上げますとともに、今年も皆さんにとつて幸せ多い年でありまうようお祈り申し上げます、年頭のあいさつといたします。

# 復興を歩む

vol.44

## 健康運動塾

月に2回、交流センター「ふれ愛館」で開かれている「までのりの里の健康運動塾」。YAGOMEディカルフィットネスクラブ（福島市）から講師を招き、健康福祉課健康係が開いています。

全村避難中、運動不足による不調を訴える人が急増し、その解消を目指して始まった事業が前身です。避難中は、仮設住宅の集会所など、避難先でも集まれるさまざまな場所で実施。避難指示が解除された昨年度は、宿泊体験館「きこり」で実施しました。

12月11日の運動塾には、常連の皆さんを中心に、15人ほどが集まっていました。初めに血圧測定を行い、準備が整うと、クイズ形式の健康講話からスタートです。講師を務める健康運動指導士の滝口義光先生は、身振り手振りを交えながら、参加者を巻き込む軽妙なおしゃべりで、皆をリラッ

クスさせます。この日は「有酸素運動」について、種類や効果的な運動法を、楽しく学びました。

続いて、運動を進めます。指示に反応して体を動かす頭の体操、全身のストレッチ、マットやボールを使った運動、さらには15分程度のウォーキングと行っています。これらは、足腰を丈夫にする運動と、肥満解消に効果のある運動を組み合わせているそうです。滝口先生は、家でもできる運動を中心に、運動の習慣化にもつながる工夫をしています。

運動の合間には、水分を補給する休憩時間もあります。「ただいないで、運動をしないと」と笑顔を見せたのは、菅野隆幸さん（関根・松塚）でした。また、鈴木みつ子さん（深谷）は「こういう機会はありません」と言います。「教えてもらった歩き方を意識して散歩しています。筋肉を落とさず年齢を重ねたいので、できるだけ毎週回っています」。楽しく体を動かして、参加していた皆さんは笑顔もいきいき。皆さんも一度参加してみたいかがですか。



**までのりの里の健康運動塾 場所:交流センター「ふれ愛館」**

1月	17日	木	午前10時～11時45分
	29日	火	午後1時45分～3時30分
2月	7日	木	午前10時～11時45分
	26日	火	午後1時45分～3時30分
3月	7日	木	午前10時～11時45分
	27日	水	午後1時45分～3時30分

問 健康福祉課健康係 ☎0244-42-1637

動きやすい  
服装と  
運動靴で!

水または麦茶  
を持参して  
水分補給を!

参加費無料

意識しないと動かさない部分もしっかりとストレッチ。無理のない範囲で気持ちよく運動を行っていきます。滝口先生が面白おかしく盛り上げて、「わはははは…」と大きな笑い声がしばしば起こります。たくさん笑えることも、この運動塾の魅力の一つですね。

# 平成30年 第9回 飯舘村議会定例会



平成30年12月議会定例会は、12月7日から18日までの日程で開かれました。一般質問は13、14日に行われ、村議員が村政の重要な課題等について村側の考えを質しました。議会審議は18日に行われ、提出された議案は追加議案を含めて全て原案どおり可決されました。

## 今議会で可決された議案など

(紙面の都合上、一部省略しています)

- 平成30年度一般会計補正予算
- 平成30年度簡易水道事業特別会計補正予算
- 平成30年度農業集落排水事業特別会計補正予算
- 平成30年度介護保険特別会計補正予算
- 水道条例の一部を改正する条例
- 農業集落排水処理施設設置条例の一部を改正する条例
- 企業立地促進区域及び避難解除区域等における村税の特例に関する条例の一部を改正する条例
- 白石第2住宅改修工事請負契約の変更について

営農再開支援水利施設等保全事業(飯舘西部その1)農業用排水施設等補修工事(取水堰補修)町堰地区請負契約の変更について

村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

## 村長村政報告

(紙面の都合上、一部省略しています)

### 村表彰式典

9月28日、「平成30年度飯舘村表彰式典」を交流センターで挙行了しました。

今年、栄えある表彰を受けたのは、議会議員及び行政区長活動に功績があった、飯桶善二郎さん(上飯桶)、松下義喜さん(草野)に功労表彰。村教育委員として功績があった佐藤眞弘さん(二枚橋・須萱)と農業委員活動に功績のあった末永瑞夫さん(深谷)に同じく功労表彰。スポーツ推進委員として活躍された中川ひろみさん(宮内)に善行表彰が贈られました。

### 消防団秋季検閲式

10月8日に村消防団秋季検閲式を挙行了しました。約100人の団員が点検に参加。村内在住の消防団員の減少などの課題がありますが、その解決策についても検討を進めていきます。

### いいたてスポーツ公園

8月12日にグラウンドオープンした、いいたてスポーツ公園の利用状況は、土日、夜間を中心に、利用者は約5300人、使用料は52万円程の収入がありました。特に休日のサッカー場の利用が多くなっています。

### 鳥獣被害対策関係

飯舘村鳥獣被害対策実施隊18人により、4月から11月までに、イノシシ290頭、サル10頭の駆除を実施し、並行して、村内で作付けを再開する農家の方166件に対して、電気柵やサル対策用フェンスの設置を実施しています。

### 教育関係

将来的な見通しも考え、平成32年4月からは3小学校を1校に統合して運営したいと考えています。3小学校の統合の在り方と中学校との一貫教育の推進をふまえて「学校等の在り方検討委員会」を設置しました。10月23日に国・県の職員、有識者を交えて、第1回目の会議を開催し、村の義務教育の在り方について検討をスタートしました。今後、視察研修や検討を重ね、村の特性を活かした学校の在り方について、来年9月頃に各種方針を決定したいと考えています。

### 農政関係

平成30年、村では水田約23haで稲刈りが実施され、うるち米の「里山のつぶ」「天のつぶ」や、もち米の「こがねもち」「ヒメノモチ」、飼料用米の「ふくひびき」のほか、酒米、ホールクroppサイレージが収穫されました。これらについては、全量全袋検査等の県が定めるモニタリング検査を完了し、その全てについて、放射性物質濃度が検出限界値未満であったため、主食用米のほとんど及び飼料用米の全量がJAに出荷されています。

また、村内で生産された野菜等のうち、11月中旬までに県の緊急時モニタリング検査を受検したものは、生産農家16件で延べ115検体、53品目にのぼっており、この他、村の非破壊式等の測定器で自主検査をした約1900検体のうち約650検体の野菜類は、食品放射能基準である1kgあたり100ベクレルを大きく下回り、自家消費分を除く野菜類の一部が「道の駅 までい館」で販売されています。

### おかえりなさい補助金

引越し費用としてスタートしたおかえりなさい補助金は、10月末日現在で344件の申請がありました。

### 村民の帰還状況について

12月1日現在の村への帰還者は405世帯で834人、震災後の転入者は82人です。これに、未避難者といいたてホームの入所者を合わせ、村内の居住者は487世帯で958人です。

### 村内見守り活動

7月からNPO法人もりの駅まごころ運営協議会に委託している「安否確認・見守り健康支援事業」は帰村した村民が家庭訪問を行っており、とても好評です。

また、郵便局が行っている見守りサービス「見守り訪問サービス」を村が郵便局と委託契約を結び実施することになりました。現在4名の方の契約が済んでいます。



## 全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします

平成30年4月に行われた、小学校6年生と中学校3年生を対象にした「平成30年度全国学力・学習状況調査」の結果をお知らせします。

○成果が見られた項目 ●課題が見られた項目



### 国語

#### ○「話す・聞く能力」「言語についての知識・理解」

少人数教育のよさが活かされていることや、国語で育んだ力を、ふるさと学習のプレゼンテーションやディベート学習で活用していることなどが成果につながったと考えられます。

#### ●「読む能力」「書く能力」

無回答数が多かった「自分の考えを書く力」や「理由を書く力」などを高めるように授業の内容・方法を改善していきます。

### 算数・数学

#### ○「知識・理解」「技能」

少人数教育のよさを生かし、一人ひとりの習熟度等に合わせてきめ細かな指導を行ってきたことなどが成果につながったと考えられます。

#### ●「数学的な考え方」

なぜ、そういう答えになるのかを、式や短い言葉を的確に用いて論理的に説明する力などを高めるよう、授業の内容・方法を改善していきます。

### 学習状況調査についての傾向

#### ○「自己肯定感」

「先生から褒められている」と感じている子どもの割合が高くなっています。

#### ●「家庭学習」

宿題を出されないと学習できない子どもが多く、主体的に学習に取り組むことができるように学校と家庭が連携した工夫や働きかけが必要です。

### 今後の改善策について

- ・育てたい資質・能力を明確にした「飯館型授業スタイル」の徹底を図り、思考力・表現力・活用能力などの向上を図ります。
- ・家庭では、「宿題」だけという子どもが多いので、「予習・復習」などに取り組むことができるよう、小・中が連携して取り組んでいきます。
- ・基本的な生活習慣を身に付けることができるよう、メディアコントロールなどの「家庭のルール」を決めて、子どもと大人と一緒に取り組めるようにします。
- ・子どもたちの「自己肯定感」をさらに高めるよう、家庭や地域においても、子ども達のよさを見つけ、積極的に価値付けをしていきます。

**飯館村は、一人ひとりのよさを見つけしっかりと伸ばしていきます！**



岩淵幸洋選手（協発発酵キリン）

両足に先天性の障がいがあり、左足膝下に装具を使用してプレー。東京五輪で金メダルを目指しています



**パラリンピック学ぶ**  
11月26日、飯館中学校でリオデジャネイロパラリンピック卓球日本代表の岩淵幸洋選手と飯館中学生の交流会が開かれました。生徒は、岩淵選手からパラリンピックの成り立ちや競技の見どころなどの説明を受け、障がい者スポーツへの理解を深めました。会では、岩淵選手と生徒が対決。回転をかけたサーブなど一流のプレーを披露しました。庄司梨花さん（2年）は「スマッシュが速く、迫力があつた。パラリンピックをもっと知りたいと思った」と笑顔で感想を話していました。



もちつき、ぺったん！

12月6日、深谷有志の会と農協の協力を得て、杵と臼を使ったもちつき会が行われました。園児は、もち米の香り漂うホールで、かけ声をかけながら応援！つきたてのもちをほおばりました。

### までいの里のこども園

寒くても、へっちゃら！  
げ〜んきな子ども達の様子をお伝えします。



中学生のお兄さん・お姉さん  
一緒に遊ぼう！

12月4、5日の2日間、飯館中3年生がこども園を訪れ、保育実習を行いました。園児は中学生と一緒に体操をしたり、給食を食べたりして笑顔を見せて喜んでいました。生徒は「最初は緊張したけれど、すぐに仲良くなれて嬉しかった」と貴重な経験を振り返りました。





役場へ報告に訪れた高野さん(左から2番目)

## 村民の命、安全を守りつづけて

11月21日、秋の叙勲で瑞宝双光章を受章した元相馬地方消防本部次長・高野孝一さん（前田・八和木）が村役場を訪れ、菅野村長に報告をしました。高野さんは「多くの仲間と家族に支えられたおかげで、受章できた。これからも村のために尽力したい」と喜びを語りました。

### 南相馬消防署飯館分署からのお知らせ

## あなたのお家にはありますか？ 住宅用火災警報器

平成30年11月に小野町で7人が犠牲になった住宅火災では、住宅用火災警報器が設置されていなかったとみられています。住警器は平成23年に原則として全ての住宅への設置が義務化されていますが、福島県内の住警器の設置率は、全国でも低い状況です。

住警器を設置することで、就寝中や人がいない場所で火災が発生してもすぐに気づくことができ、初期消火や早期避難につながり、火災から命を守ることができます。

### 全ての寝室に住宅用火災警報器の設置を！



●・・・取り付けが義務付けられているところ  
●・・・取り付けをおすすめするところ

### 万が一のために、定期的な点検をしましょう

正常な場合は？	音が鳴らない場合は？
正常をお知らせするメッセージまたは火災警報器が鳴ります。 ビビ ピーピーピー ピーピーピー 火事です	電池がきちんとセットされているか、ご確認ください。 ・・・ しーん
注)警報音はメーカーや製品により異なります。	それでも鳴らない場合は、「電池切れ」か「機器本体の故障」です。取扱説明書をご覧ください。

住宅用火災警報器には、「単独型」と「連動型」があります。

○**単独型**：火災を感知した住宅用火災警報器だけが警報を發します。

○**連動型**：火災を感知した住宅用火災警報器だけでなく、連動設定を行っているすべての住宅用火災警報器が火災信号を受け警報を發します。なお、連動型には、配線によるものと無線式のものがあります。

新たに設置する場合及び本体交換（10年目安）の際は、連動型をお勧めします。

問 南相馬消防署飯館分署  
☎ 0244-42-0119

## 農地の取得要件（下限面積・別段の面積）が緩和されました

農地を売買・贈与する場合には、農地法第3条の規定に基づく農業委員会の許可が必要です。許可基準のひとつに、受け手の許可後の耕作面積(経営面積)が「原則として、北海道2ヘクタール以上、都道府県50アール以上になること」という規定があります。

これは、経営面積が小さいと生産性が低く農業経営が効率的かつ安定的に継続して行われないことが想定されることから、許可後に農地の経営面積が一定以上にならないと許可はできないとするものです。

この農地の経営面積の最小値（下限面積・別段の面積）について、農地法の改正に伴い、農業委員会で定めることができるようになりました。

本村は、原発事故による全村避難が長期間となり、避難指示が解除された現在においては、人口の1割程度しか帰村していないことから、これから、高齢化や担い手不足等から今後遊休農地や耕作放棄地が増加し、農村の荒廃が懸念されています。

これらのことから、農業の担い手（新規参入者）の創出と農地の有効利用を図るため、別段の面積(下限面積)を下記のとおり変更しました。

設定区域	別段の面積	設定基準
飯館村全域	10アール	17条第1項
宅地等に付随した農地	1アール	17条第2項



### ご注意！

農地の取得には、農地法に基づく農業委員会の許可が必要になります。詳しくは、農業委員会事務局にお問い合わせください。

問 農業委員会事務局 (☎ 0244-42-1629)

## 大切な一票を守ります 飯館村選挙管理委員会

9月議会において、任期満了による飯館村選挙管理委員会委員の議会選挙が行われ、再選を含む4人の方が当選しました。今回、当選された委員の任期は平成34年10月4日までです。(敬称略)



委員長  
伊東 利  
(関沢)



委員長職務代理者  
赤石澤 富夫  
(大久保・外内)



委員  
佐藤 和枝  
(前田)



委員  
今野やよい  
(関沢)



## 村の元気を発信しよう！ ふくしま大交流フェスタに出展



村のブースにも多くの方が足を止め、試飲や試食を楽しみました。美味しさに会話ははずみず

12月9日、東京国際フォーラム(東京都千代田区)で行われた「ふくしま大交流フェスタ2018」に村も出展し、「氣まぐれ茶屋ちえこ」「ニコニコ菅野農園」「ふるさと飯館なでしこ館」「まぐれ工房美彩恋人」などの商品を販売し、村の元気を発信しました。今年で12回目となるこの催しは、美味しい食や酒、工芸や芸能、美しい風景など、福島を幅広く紹介するもの。村のブースにも多くの来場者が立ち寄り、試飲や試食、会話も楽しみながら、気に入った商品を購入していました。

## 神鋼環境ソリューションから 健康食品のプレゼント



体操教室を行っていた「きつつきの会」の齋藤政行会長(左/前田)に健康食品を手渡す井土さん

12月10日、「神鋼環境ソリューション」(神戸市)の社員で、小宮仮設焼却炉(平成29年に解体)の運営責任者を務めていた井土俊輔さんが村を訪れ、同社のグループ会社「ミカリア」が開発した健康食品を住民に贈りました。井土さんは「村の皆さんを助けたいと乗り込んだが、かえって助けられ励まされた」と当時を振り返りました。贈られたのは水処理の技術から生まれた新しい健康食品で、ミカリアの大谷和由社長が効能を解説し「健康づくりに生かしてほしい」と伝えました。

## 防犯指導隊・交通安全協会が 年末に向け街頭キャンペーン



JAふくしま未来飯館総合支店で啓発グッズを手渡し詐欺被害防止への協力を呼びかける防犯指導隊

飯館村防犯指導隊(菅野敬隊長/関根・松塚)と南相馬地区交通安全協会飯館分会(只野俊分会長/前田・八和木)が、12月14日、南相馬警察署と合同で、事件・事故防止の街頭キャンペーンを行いました。初めに「いいいて村の道の駅までい館」で出発式を行い、防犯指導隊は村内の金融機関などを巡回、交通安全協会は道の駅で交通安全を呼びかけました。参加者らは「年末年始は事件・事故が多発する。防止に努めて皆さんにいい正月を迎えてほしい」と話していました。

## たくさんの笑顔をありがとう 小学2年生がホームを訪問



メッセージ付きの折り紙もプレゼント。子ども達から元気をもらって、入居者の笑顔も輝いていました

11月21日、草野・飯樋・白石小学校の2年生が、いいいてホームを訪問しました。最初は、職員の案内で施設を見学。続いて、介助のコツを教わりながら、ホールに集まる高齢者の車イスを押しました。また、交流の時間が始まると、鍵盤ハーモニカの演奏、野菜栽培についての発表など、いいいてっ子発表会「赤蜻祭」で披露したステージを再現。いきいきとした子ども達の様子に、感動の涙を流す入居者もありました。心優しい小学生と入居者が思いを問わず、温かな交流となりました。

## 元気アップポイント表彰式 50ポイント達成の5人を表彰



この日も卓球を楽しんでいた皆さん。達成者には表彰状と5,000円分のクオカードが贈られました

11月28日、福島県青少年会館体育館(福島市)で、「元気アップポイント表彰式」が行われました。元気アップポイントとは、スポーツ事業や趣味の講座など、生涯学習課の事業の参加者に付与されるポイント。表彰は、50ポイントを達成した人が対象です。今回表彰された方の一人、佐藤美知夫さん(飯樋町)は、「ここで続けている卓球のおかげ。無料開放が終了しても続けていきたい」と笑顔を見せました。集めたポイントは、家族分を合算してもOK。皆さんも奮ってご参加ください。

## 中学生人権作文コンテスト 栄えある表彰



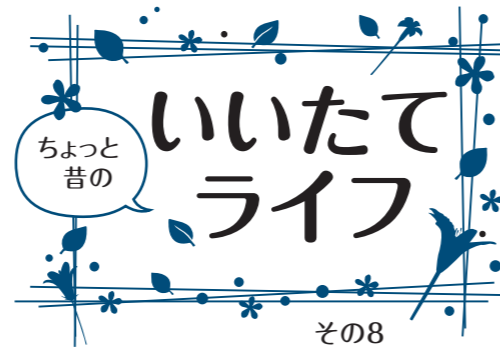
表彰式の後の記念撮影。表彰状を手にする川井さん(右から4人目)と和田校長(同3人目)

法務省と全国人権擁護委員連合会が主催する人権作文コンテスト福島県大会で、飯館中学校3年生の川井萌映さんが奨励賞を受賞し、12月7日、福島地方務局相馬支局の新田公夫支局長と村の人権擁護委員が中学校を訪れ、表彰式が行われました。川井さんは、「未来への翼」北欧研修で、現地の老人施設などを訪れた経験をもとに、高齢者福祉における人権の尊重について作文を書きました。また、中学校には、人権教育の成果をたたえる感謝状が贈られました。

参考／写真転載  
飯館村史第3巻「民俗」



(上)雪の中の炭出し (右)冬の作業時に履いたじんべわらじ



その8

### 集まって冬仕事

冬仕事に人が集まる家は大体決まっています、大きな納屋や馬屋のある家が定宿となりました。教え合いながら糞やじんべわらじを作り、合間には相撲をとったり、道行く人を眺めたり、楽しい雰囲気もありました。林業や炭焼きといった仕事はじんべわらじを履いてやるのが一番暖かかったそうです。山に行く時は、じんべわらじを履き、弁当を持って、朝早く出掛けて行きました。そうして二日働いて、夕飯の後はまたわらじ作り。林業や炭焼きの収入は、春の農作業の準備にあてていました。山仕事を始めるのは1月2日からで、この日は半紙と切り餅と鉋を持って山に行きました。半紙を切って木に結び、切り餅を鉋で削って供え、山の神に仕事の安全を祈ってから1、2本の木を切りました。これを初山と呼びました。12日には団子さしに使う団子の木を切りに行きました。

## つながるアルバム



身近な話題をお届けします。皆さんからの情報もお待ちしています。

### 美味しい商品と音楽で笑顔の交流

11月23日、「いいたて村の道の駅までい館」で、「までい工房 美彩恋人」(渡邊とみ子代表／前田・八和木)がイベント「秋の感謝祭」を開催。来場者は試食を味わい、美味しい商品との出会いを楽しんでいました。渡邊代表らと交流のある埼玉県の農業者が野菜を出品したり、ハーブトリコーダーの演奏ユニット「ぶりずむくぶれDuo(デュオ)」がミニコンサートを開いたりしてイベントを彩りました。



### 女性消防隊前田分隊の救命講習会

飯館村女性消防隊前田分隊(庄司ミツエ隊長／前田)の皆さんが、12月9日、前田公民館で救命講習会を開きました。講師を務めた南相馬消防署飯館分署の菅野茂則さん(関根・松塚)は、「地区単位の講習は貴重な機会」と話していました。参加者は講習用のマネキンで実際の手順を確認し、AED(自動体外式除細動器)の使い方などを、しっかり学んでいました。



### 老人クラブ連合会 全国表彰を報告

12月5日に沖縄県で開催された「全国老人クラブ大会」での表彰を、同7日村役場へ報告しました

飯館村老人クラブ連合会(菅野敬会長／関根・松塚)が、全国老人クラブ連合会の全国大会で表彰を受けました。全村避難の間も、交流活動・健康活動を継続し、組織の継続と活性化に取り組んできた実績が評価されたものです。現在も、スポーツイベントなどを開いて交流を深めながら、村や学校のイベントにも積極的に協力し、地域貢献活動にも取り組んでいます。



12月11日には、いいたてスポーツ公園の室内運動場で、ゲートボール大会を開催。参加者が、村内開催を喜びました



### 北海道胆振東部地震 被災地にエールを

平成30年9月6日未明に発生した「北海道胆振東部地震」の被災地に義援金を送ろうと、村は役場窓口等に募金箱を設置しました。多くの皆様の善意をいただき、募金額は9万4,745円となりました。これを義援金として、震度7の激しい揺れに見舞われ大きな被害を受けた厚真町にお送りさせていただきました。ご協力をいただいた皆様、ありがとうございました。



ご協力をありがとうございました



### 福島民報広告大賞 モノクロの部 金賞

平成30年3月11日に福島民報新聞に掲載した村のメッセージ広告が、「第57回福島民報広告大賞」でモノクロの部・金賞を受賞しました。12月10日に、福島市の民報ビルで行われた表彰式では、審査員を務めたクリエイティブディレクターの箭内道彦さんから、「胸に迫るメッセージ。そのことを一緒に考えようという歩み寄りを感じさせる広告です」など温かな講評をいただきました。

## 新しいタブレットは、特別プランで1世帯何台でもお申し込みできます！

新しいタブレットで、生活をより楽しく、

ふるさとカメラ.....

24時間、村内各所にあるカメラが撮影中！  
いつでも、どこでも村の今を見ることができます！



村民の方だけの、特別プランで  
新タブレット端末が利用できます。  
毎月の利用料 1,550円 (税込)

村の情報がすぐにわかる「イイタネちゃん  
お知らせアプリ」がはじめから利用できます。



新タブレットのお申し込み・問い合わせは、総務課企画係 ☎0244-42-1613 まで

各地で開催中の新タブレット操作説明会・体験会でも新タブレットのお申し込みが可能です。希望の方は、本人確認できるもの（免許証など。氏名、住所の記載のあるもの）、銀行口座情報（銀行名、支店名、口座番号など。引き落とし口座記入のため）、印鑑（上記銀行口座金融機関への届出印）をご持参ください。

新タブレット操作説明会・体験会の開催スケジュールは、開催日が決まり次第、広報お知らせ版等でお知らせいたします。

## 入札結果をお知らせします

入札日 / 11月9日 (単位: 円)

工事(業務)の番号・名称	契約額(税込)	請負業者	完成予定
特定復興再生拠点エリア測量業務(長泥字長泥地内)	12,420,000円	(有)大内測量設計事務所	平成31年3月下旬
大師堂住宅団地地質調査業務	7,236,000円	庄建技術(株)	平成31年3月下旬
大師堂住宅団地測量造成設計積算業務	19,353,600円	(一財)ふくしま市町村支援機構	平成31年3月下旬
福島再生加速化交付金事業 林道舗装工事	21,870,000円	(株)英工務店	平成31年3月下旬
農業基盤整備促進事業(飯館2期)測量設計業務	3,564,000円	(有)御堂測量設計事務所	平成30年12月下旬
農業基盤整備促進事業(飯館西部その2)農作業道測量設計業務	3,564,000円	(有)御堂測量設計事務所	平成30年12月下旬
基盤整備促進事業 飯館2期 古今明地区	11,340,000円	濱田建設工業(株)	平成31年3月下旬
基盤整備促進事業 飯館2期 水上地区	24,408,000円	(有)福相建設	平成31年3月下旬
農業水利施設等保全再生事業(飯館地区)ため池放射性物質対策調査測量設計業務	86,400,000円	福島県土地改良事業団体連合会	平成31年3月下旬
農業水利施設等保全再生事業(農地防災事業)ため池耐震性調査解析業務	5,832,000円	庄建技術(株)	平成31年3月下旬

【お詫びと訂正】 広報いいたて 11月号 17ページ「環境再生事業についてお知らせします」の中で、記事のなかの環境省ホームページURLに誤りがありましたので訂正し、お詫び申し上げます。  
(正) <http://josen.env.go.jp/chukanchozou/facility/effort/recycling/iitate.html>

## 福島圏域11市町村による協議会を新たに設立、広域連携を強力に推進します！



11月19日、村を含む福島圏域11市町村による広域連携を進める「福島圏域連携推進協議会」が新設されました。

この協議会は、人口減少・少子高齢化等の課題に対し、近隣市町村が連携して、持続的な発展と地域の活性化を図ることを目的とします。

会長の福島市・木幡浩市長は、設立総会の中で「市町村の結びつきを一層強め、広範囲の地域活性化と、連携事業をさらに推進していきたい」と表明し、

地域の諸課題に対し圏域市町村で連携して対応していくことを強調しました。

今後は、観光連携事業や移住定住促進事業、職員合同研修、オリンピック・パラリンピック関連事業等を連携して実施し、新たな連携事業や体制について協議を進めていきます。

福島圏域参画市町村：飯館村、福島市、二本松市、伊達市、本宮市、宮城県白石市、桑折町、国見町、川俣町、大玉村、山形県米沢市（オブザーバー）の11市町村

## 12月の村の動きと主なできごと

- 5日・仮設住宅・公的宿舎管理人会議（松川事務所）
- ・飯館村老人クラブ連合会 全国老人クラブ大会で表彰（沖縄県宜野湾市）
- 6日・「ことばの散歩道」石碑に刻む座右の銘募集 記者会見（村役場）
- 9日・ふくしま大交流フェスタに出展（東京都・東京国際フォーラム）
- ・ふくしま避難者交流会（東京都・東京国際フォーラム）
- ・クリスマスジャズコンサート（交流センター「ふれ愛館」）
- 10日・村広告「あたりまえをありがとうと思う日」民報広告大賞・金賞受賞（福島市・民報ビル）
- ・水道事業・農業集落排水事業運営審議会（ビレッジハウス）
- ・JAと農業者の意見交換会（JAふくしま未来飯館総合支店）
- 11日・第1回平成31年いいたて新春のつどい実行委員会（村役場）
- 11～18日・12月議会定例会（村役場議場）
- 14日・「いいたてルミナリエ」点灯式（いいたて村の道の駅までい館）
- 15日・「再び、オオカミ現る！」展バスツアー（宮城県・村田町歴史みらい館）
- ・南向台飯館自治会同窓会（土湯温泉・向瀧）
- 17日・学校運営協議会（飯館中学校）
- 19日・第2回飯館村の学校等の在り方検討委員会（村役場）
- 21日・第13回農業委員会定例総会（村役場）
- ・第2回飯館村長泥地区環境再生事業運営協議会（村役場）
- 24日・マイナビ農業就業フェスト（宮城県・仙台国際センター）
- 26日・定例教育委員会（村役場）

庄司勝藏さん（白石）



地区の老人会長なども務めていた避難前は、水稲やキャベツの生産に取り組んでいました。避難先でも畑をやり、帰村した今も自家用の野菜を作っています。

震災の前は、主にキャベツをつくっていた。夜明けとともに収穫を始めて、福島市の市場に、朝の6時40分までに運んでいたんだ。市場通いは、随分やったよ。自分の小遣い稼ぎにもなったしね。

3年位は続けたんだ。ただそこで、仕事はやめなくてはならなくなった。震災前は、息子夫婦と孫と暮らしていたが、村には俺と家内のフミの2人で帰ってきた。避難して伊達にも家が建つたし、孫も結婚したり、就職したりしたからね。

村のサポートセンターにはまだ一度も行っていないが、今日は「健康いちばん！の集い」に参加した。たまには来てみつぶと思つてな。こうして見ると、ほとんど知っている人だ。にぎやかで、いろいろな人と話せて、いいことだな。

俺はいつお迎えが来ても、もう心構えはできている。明日来ても平気だ。家族の将来も心配ないし、やるだけのことをやって来た。後は息子達に任せて大丈夫だ。そんな心境です。（広報より…やるだけやつたと言える素晴らしい心境ではあります、今年も元気に、長生きをしてください！）

「あたりまえ」に感謝の心を

こころのぽけっと

避難生活は、私たちの暮らしにとつてもない変化をもたらしました。村民の皆さまには「よくぞ、ここをがんばって生きてもらったものだ」と感謝の思いで一杯です。でも、これまでにない経験によって違った考え方も出来るようになったという事も、1つ2つあるような気がします。

その1つに、避難当時、「避難してみても、今までの生活がいかにありがたかったかが分かった」という声を多くの人から聞いたところ。そこで村は、平成30年に、3月11日を「あたりまえをありがとう日」という日（制定することになりました）このような思いを村民はもちろん、村外の方にひとりでも多く知ってもらえればという事で当日の県内2紙へ新聞広告を出しました。こんな内容で。

原発事故による避難を経験して私達は「あたりまえ」と思っていた日々の暮らしが何よりも大切なものだったと気づくことができました。あたたかなご飯を食べられること、畑の採りたて野菜が味わえること、家のお風呂にゆったり浸かれること、家族と一緒に笑っていられること、あたりまえと思っていた毎日はたくさんの尊い営みや思いやりや愛情で大切に つむがれていたのだと飯館村は3月11日を「あたりまえをありがとう日」と制定します。あたりまえの日常への感謝を忘れないために

この広告、福島民報広告賞のモノクロ部門で金賞を受賞してしまいました。3月11日が、もうすぐやってきます。「あたりまえがありがたかった」という全国の声を知りたいと思つています。きっと、いろんな方々の「ありがた話」が出てくることでしょう。皆で楽しみにしていようではありませんか。

平成30年12月28日 飯館村長 菅野 典雄

心も自分も大切に。

村民の皆さんからの相談に、堀先生がお答えします

おしえてくんちえ！堀先生

相談 「新年の抱負」を叶えられるコツを教えてください！

新年のご挨拶を申し上げます。早速ですが皆さん、1年後に自分がどうなりたいかを、想像できますか？「これ位ならなれる」という控えめな姿ではなくて、「こういう素敵な自分になりたい」と思える姿です。今より勉強して賢くなっている姿でも、仕事がうまくいっている姿でも、他の人に優しくしている姿でも、何でも結構です。

その姿が思い浮かんだら、1年後にそれを実現するために、今日必要なことを考えて、実行してください。

それを1年続けたらどうなっているのでしょうか？今年一年が、皆様にとって良い年でありますように。



精神科医 堀有伸先生  
ほりメンタルクリニック院長

「心の健康相談」お問い合わせは 健康福祉課健康係（いちばん館内）☎0244-42-1638まで

ひとのうごき

(平成30年11月30日現在)

人口	今月	(前月比)
♂	2852人	(+2)
♀	2862人	(-2)
計	5714人	(±0)
世帯数	1821戸	(+8)

11月1日～30日までの

◆◆人口動態◆◆

転入	9人
転出	8人
出生	1人
死亡	2人

(住民基本台帳人口)



おくやみ

氏名	年齢	行政区
星 利 男	91	上飯樋
廣 島 ヨシノ	95	深谷
須 田 ナ ツ	95	小宮
大 谷 イサノ	95	上飯樋

ご冥福をお祈り申し上げます

(11月21日から12月14日までに届け出のあったものを掲載)  
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。



# HOPES

ホープス セカンド

2nd

村の委託を受けて、NPO法人もりの駅「まごころ」協議会(熊谷清会長/飯樋町)が、昨夏から健康支援事業に取り組んでいます。地区ごとに食事会や健康講座を開いたり、村に戻って暮らす世帯を訪問したり、「食」を中心に、暮らしぶりや健康状態に耳を傾け、村の支援につなぐ役割も担います。しかも、食事会の食事は、村の女性達に作ってもらう手料理です。これには「郷土食をつ



## お世話になった人の役に立ちたい

本名 洋文さん(関根・松塚)



妻の実家がある飯館村に移住。東京のホテルで仕事をしてきた経験を生かして宿泊体験館「きこり」に勤務。もりの駅「まごころ」のアドバイザーとなり、現在もNPO法人もりの駅「まごころ」協議会理事。

協議会の訪問活動には福島大学の学生も協力しています。11月22日には、さらに熊本大学の学生や村民も交えての交流会。郷土料理や手打ちそばが食卓を彩りました。

なく意味もある」のだそうです。懐かしい味に、食事を囲む皆さんも話はずみずみ。

事業のスタートに合わせて、同協議会の仮事務所が、地域活性化センター「いちばん館」の一室に置かれました。本名さんは、活動日に、報告書の整理や収支の処理など行います。「活動に参加する方も、村の人との交流に喜びを感じています」。

そのやりがいは、「また来いよ」と声を掛けてもらうとうれしい「要望を村に伝えたり、逆に村の事業を伝えたり、1つでも2つでも、いい形でつなぎたい」と話す会員の言葉からも伝わってきます。住民参加型の事業のよさが、大いに発揮されているようです。

本名さんは昭和村の出身。都会に暮らして「何もないと思っていた故郷の素晴らしさが分かった」と言います。「村の人の故郷への思いが分かる。お世話になった分、役に立ちたい」と言葉に力を込めました。

### 〈編集後記〉

● 新年あけましておめでとうございます。昨年は村民の皆さんのおかげで、広報いいたてを発行することができました。ありがとうございます。今年も村民の皆さんの楽しい、嬉しい、笑顔の場面をひとつでも、ひとりでも多くお届けできるようにまっすぐ走りたいと思います。よろしくお祈りします！(木幡)

● 皆さんのご協力なしでは1ページもつけない広報紙…。感謝をしながら紙面づくりをしています。それなのに逆にやさしい言葉をかけていただいたり、励ましていただいたり。この恩をどこでお返しできるだろう…としばしば考えられています。どうか新しい年が、皆様にとってよりよいものでありますよう。そして飯館村がますます元気になる1年でありますように。(星)



飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。